



和光の緑と湧き水だより会報 Verda205号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会は、白子大坂ふれあいの森の会と協同で会報を発行します。
作成：高橋絹世 連絡先 048-462-9912

身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>
一緒に自然に親しみ、ボランティア活動をしましょう 随時会員募集中

2020年5月、6月の主な予定表 (2020年4月29日発行)

予定	全体会	新倉ふれあいの森	富澤湧水・ 大坂ふれあいの森 (地域の会に協力して)
6月	当面行いません。会報やメールでお知らせします	20日 (第3土曜) 定期保全 9時半～	13日 (第2土) 富沢湧水調査・保全 9時～ 17日 (第3水) 大坂ふれあいの森 9時～
7月	7、8月の夏休み中学生ボランティアも中止です	18日 (第3土) 定期保全 9時半～	11日 (第2土) 富沢湧水調査保全 9時～ 15日 (第3水) 大坂ふれあいの森 9時～

2020年度・緊急事態宣言が発令されて約2か月の活動の様子

湧き水の会は4月、5月の様々なイベントを見送りましたが、各地フィールド活動は継続しています。新型コロナウイルスに対応する方法が報道されているように、手洗いやマスク着用、ソーシャルディスタンスの維持などを守り、新しい生活スタイルを進めています。

このような状況で、自然と身近な外気に触れるフィールドがより大切になってきているのを実感します。サワガニに出会いたいと富沢の水辺に立ちよる親子づれ、大坂の緑で遊ぶ子供達、新倉ふれあいの森にも家族連れが散策に訪れています。今までより身近な自然が求められている光景です。会ではそんな緑のフィールドを荒れた森にしないように手入れし、維持していこうという会員皆さんの意識だと思っています。これからやってくる猛暑の前に今のうちに保全し身近な森やわき水を守っていこうと努力しています。湧き水の会としても発想を転換して、今年じっくりとフィールドの整備保全をし、各自が生き生きと楽しみながら、社会に少し役立つ事を、という思いで活動しています。会のホームページにも情報を公開していますので、ご覧ください。QRコードを使うとホームページが表示されます。



会のQRコード

現在取り組んでいることは、現在厳しい世の中だからこそ、和光の自然を多くの方々に知ってもらおうと美しい野草や風景を絵葉書に印刷し使ってもらおうと企画しています。会報と一緒に届けます。



身近な自然の絵葉書集

“各地のフィールドからのニュース”

1. 新倉ふれあいの森

4月は春植物のヤマブキソウ、ニリンソウ、キンラン、ギンラン、カタクリ (18, 19年移植)、に加え今年は、タマノカンアオイの花が咲きました。丁度植物の成長に適していたようです。この植物は3月末に一旦旧葉が減る時期があり、4月に急に生き生きしてきます。多摩地方に特有の固有種とのことで、板橋区にも自生地がありますが、埼玉県では少ないようです。



土に密着して2個の花が咲いています

埼玉県希少野生動植物の種の保護条例に指定されています。

貴重種の保護も重要ですが、そればかりが大切なのではなく、親子で緑地散策が気軽にできるフィールドとして活用されるといいと思います。自粛ムードの中、当会の保全中にも散策に来ている家族連れを見かけます。緑の森の大切さが広がってきているように思えます。



2. 富沢湧水

水路の底の掘り下げをした後に、比較的大きな石を配置しました。青木さんから提供されたものです。崖の崩れ落ちを止める所まではいきませんが、どっしり安定していて、相変わらずの水量で流れています。石垣湧水道下のあふれた湧水の中から大きなサワガニを見つけました。この



大きさ太さは初めてです。湧水の流れる石垣と湧水路の両方の環境がサワガニに適しているのではないかと思います。

コロナ渦の中でも落ち着いて自然に向き合う時間



間が持てて貴重な観察ができました。このままの環境を残していきたい湧水地です。

大坂ふれあいの森コーナー

大坂ふれあいの森も見逃せません

富沢湧水の斜面を回り込んだところに、いにしへの川越街道があり、ここから急坂「大坂」を上る道の途中に大坂ふれあいの森があります。新緑が美しい緑の森です。笹や竹の中に大きな一枚葉を冬から成長させ、サイハイランが3株咲きました。今年はしっかりと花が付き、采配を振るっています。

大坂ふれあいの森に隣接する東と南2方向で開発が進んでいます。空き地には外来種が三密の状態です。これから周辺の開発の影響で、どこまで変化していくのか予想が付きません。

今年度からは、大坂ふれあいの森の保全は市との協働事業となり、都市の生活にも自然が溶け込んでいけるよう地域の方々と一緒に守っていきたいところです。



この時期フキが最盛期を迎えています。丁度成長したフキを間引きして恵みをいただき、季節の香りを味わうことができました。